

タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130569061501	科目番号	05690615
授業科目名	●オランダの言語		
編集担当教員	山下 龍		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 龍		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 龍		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）	全学生		
担当教員Eメールアドレス	info@ryuumon.com		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業の前後		
授業のねらい	初級レベルのオランダ語入門講義です。 授業には、視聴覚教材も使用し、より分かりやすく、より楽しくオランダ語を学習することで、オランダ文化への興味を喚起させることをねらいとしています。		
授業方法（学習指導法）	ネイティブのオランダ人による日本語での講義。 この講義の為に作成した資料を活用し、聞く・話す・書くことを通して聴解・読解・文法を学びます。授業中に学習したことを家庭でCD-ROMを使用して復習してもらいます。		
授業到達目標	初級レベルのオランダ語ができるようにします。資料に示された約600語のオランダ語を修得します。		
授業内容	授業では、資料の第1課 自己紹介から始めます。家庭でCD-ROMを使いながら復習してもらいます。 基本の文法を会話の中に取り入れ、学生に会話をしながら自然に文法を身に付けます。指示された範囲や内容を復習して授業に参加してください。講義での演習とCD-ROMでの復習を通してオランダ語のリズムや音も学びます。また、この資料を用いて、簡単な文を書いてもらい、文法の練習も行います。		
	回	内容	
	1	自己紹介Ⅰ（現在形の作り方・動詞活用）	
	2	相手の事を尋ねるⅠ（一般疑問文・疑問詞を伴う疑問文）	
	3	相手の事を尋ねるⅡ（人称代名詞・否定文）	
	4	自己紹介Ⅱ（形容詞・副詞）	
	5	第1回～第4回の復習	
6	家族の紹介、時計を読む（比較級と最上級）		

	7	一日の予定（名詞の単数・複数形・時刻と場所）
	8	一週間の予定（助動詞の使い方）
	9	約束を交わす（勧誘表現）
	10	第5回～第8回の復習
	11	レストランでの会話（過去時制）
	12	相手の事を尋ねるⅢ（現在完了形）
	13	道を探ねる（命令形）
	14	第9回～第11回の復習
	15	講義の総括 会話の発表
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		教材プリント配布 CD-ROM 100円
成績評価の方法・基準等		教材：プリント教材 毎回配布します。成績評価の方法・基準等 成績評価は、○定期試験70%、授業中の発表と提出物30%で行います。
受講要件（履修条件）		全回出席が原則。CD-ROMは必ず購入すること。
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130569000701	科目番号	05690007
授業科目名	●解放講座		
編集担当教員	阿南 重幸		
授業担当教員名(科目責任者)	阿南 重幸		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	阿南 重幸		
科目分類	自由選択科目、A科目 総合科目、総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[G棟4F]文教スカイホール		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	scykf338@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	学外非常勤講師		
担当教員TEL	09045868939		
担当教員オフィスアワー	scykf338@yahoo.co.jp		
授業のねらい	21世紀は「人権の世紀」ともいわれる。本講座は、部落問題を中心に今日社会におけるさまざまな諸問題を、人権の視点で考察することを目的とする。		
授業方法（学習指導法）	講義形式		
授業到達目標	講座開設の意義を踏まえ、世界の人権状況、国内においては、部落問題・アイヌ問題・ハンセン病回復者への差別・在日外国人・冤罪事件の諸状況を歴史的に考察し、理解を深める。		
授業内容	人権に関する世界及び日本の歩みを振り返り、今なお存在する日本の人権課題について、学ぶことを目的とする。人権の観点から見た部落問題、アイヌ問題、在日外国人問題、ハンセン病に係わる問題や冤罪事件等を取り上げ、とくに部落問題ではあやまった歴史観を質したい。また、地域史として、「長崎の被差別部落」を取り上げる。		
	回	内容	
	1	4月10日「解放講座」開設の意義について（藤澤秀雄）	
	2	4月17日 変化する「部落」観（阿南重幸）	
	3	4月24日 変化する部落観（阿南重幸）	
	4	5月1日 日本の近代化とアイヌ問題（阿南重幸）	
	5	5月8日 日本の近代化とアイヌ問題（阿南重幸）	
	6	5月15日 在日外国人の「国籍条項」（阿南重幸）	
	7	5月22日 在日外国人の「国籍条項」（阿南重幸）	
	8	5月29日 ハンセン病と差別（阿南重幸）	
	9	6月5日 ハンセン病と差別（阿南重幸）	
10	6月12日 教科書に見る部落問題（阿南重幸）		

	11	6月19日 教科書に見る部落問題 (阿南重幸)
	12	6月26日 部落の歴史を再考する (阿南重幸)
	13	7月3日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として (藤澤秀雄)
	14	7月10日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として (藤澤秀雄)
	15	7月17日 フィールドワーク「原爆と被差別部落とキリシタン」 (阿南重幸)
	16	
キーワード	知識・態度・技能	
教科書・教材・参考書	テキストは用いない。プリント、資料等を配布する。 ビデオ等を使用する。	
成績評価の方法・基準等	レポートの成績、出席状況を考慮して行う。 レポート 70 出席 30	
受講要件 (履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考 (URL)		
備考 (準備学習等)		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130590090601	科目番号	05900906
授業科目名	●キャリア概論		
編集担当教員	深尾 典男		
授業担当教員名(科目責任者)	深尾 典男		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	深尾 典男		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	fukao@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	広報戦略本部（事務局棟2F）		
担当教員TEL	819-2008		
担当教員オフィスアワー			
授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・自己と社会の関係について学ぶ。 ・社会参画のために必要とされるスキルについて学ぶ。 ・大学での学びが社会人としての素養にどのように関係するかを理解する。 ・勤労観と職業観を育み、キャリアデザインのための考え方と行動につなげるための手法を身につける。 		
授業方法（学習指導法）	教科書は用いず、配布する授業内容のレジュメに基づいて授業を進める。適宜、討論の時間を設け、受講生は授業内で発表を行う。多面的な知識、基本的な素養を身につけてもらうため、数名のゲスト講師を招聘する予定。		
授業到達目標	大学生生活を通じた学びのために、それぞれが社会参画に対する意識を高めることを授業の狙いとする。授業を通して自らのキャリアデザインを行い、学士課程教育で身につけるべき素養の目標設定を行う。		
授業内容	回	内容	
	1	キャリア概論の概要と狙い	
	2	社会理解1（業種・職種の理解）	
	3	自己分析1	
	4	社会参画で求められる素養	
	5	社会理解2（起業について）	
	6	社会理解3（事業継承について）	
	7	自己分析2（スキル・リソース）	
	8	自己分析3（目的・目標）	
	9	社会参画で求められる能力1（文章表現）	

	10	社会参画で求められる能力2（コミュニケーション）
	11	社会参画で求められる能力3（プレゼンテーション）
	12	社会参画で求められる能力4（就活の現場から）
	13	キャリアプランの作成
	14	キャリアプランの発表1
	15	キャリアプランの発表2
	16	
キーワード	キャリア、社会人基礎、コミュニケーション、プレゼンテーション	
教科書・教材・参考書	教科書は用いず、授業計画に沿ってパワーポイント等を使用して講義を行う。関係する資料等については、eラーニングシステムを利用して配布する。参考文献は適宜紹介する。	
成績評価の方法・基準等	出席状況と受講態度、予習・復習の状況、レポートの提出状況を総合的に評価する。	
受講要件（履修条件）	全講義を出席できることを受講要件とする。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130569062801	科目番号	05690628
授業科目名	●長崎学		
編集担当教員	姫野 順一		
授業担当教員名(科目責任者)	姫野 順一		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	姫野 順一, 野上 建紀		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-21		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	himeno@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー			
授業のねらい	長崎の多様な機能と歴史的成り立ちを長崎学という地域学の体系で理解する。		
授業方法（学習指導法）	文書、絵画、古写真、器物などに触れながら、長崎を体系的に学習する。		
授業到達目標	長崎検定に挑戦できる学生の育成をめざす。		
授業内容	回	内容	
	1	長崎の歴史と長崎学	
	2	長崎の誕生	
	3	南蛮貿易と長崎	
	4	唐人貿易と長崎	
	5	長崎の海底遺跡	
	6	長崎の陶磁器産業	
	7	長崎と陶磁器貿易	
	8	長崎とガレオン貿易	
	9	出島の誕生と機能	
	10	蘭学物語	
	11	長崎版画に見るエキゾチシズム	
	12	外国人居留地の形成	

	13	坂本龍馬の長崎訪問
	14	写真の伝来
	15	古写真に見る長崎の世界性
	16	
キーワード	日蘭交渉、日中交渉、出島、蘭学、通詞、古写真、居留地、坂本龍馬、長崎学、原爆	
教科書・教材・参考書	参考書：姫野順一編『出島と西南雄藩』（九州大学出版会）、姫野順一著『龍馬が見た長崎』（朝日選書）、『長崎市史』（長崎市）	
成績評価の方法・基準等	毎回講義の概要をまとめ講義に対する感想を書いて提出する。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ	教養科目として長崎の常識を身につける	
学習・教育目標	長崎の世界性を理解するグローバル人材の養成をめざす。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	図書館の郷土資料コーナーやネットで関連することを調べる習慣をつける。	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130590090501	科目番号	05900905
授業科目名	●平和講座		
編集担当教員	戸田 清		
授業担当教員名(科目責任者)	戸田 清		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	戸田 清, 小峯 秀孝, 山崎 年子, 冨塚 明, 篠崎 正人, 黒滝 直弘		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目、A科目 総合科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養B棟]B-44		
対象学生（クラス等）	全学部 1年、2年、3年、4年		
担当教員Eメールアドレス	toda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部4階環404戸田教員室		
担当教員TEL	095-819-2726		
担当教員オフィスアワー	月曜15-17時		
授業のねらい	この文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身動員令などによって動員された多くの若者たちが航空機用魚雷の生産に従事中、原爆によって、その多くが爆死しました。敗戦後、日本人は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚し、国家再建の基礎を人類普遍の原理に求めて戦争を放棄し、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して安全と生存を保持しよう」と決意しました。本講座は、その決意を受け継ぎ、平和を愛し探究心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく基礎的資料と基本的な分析理論を提供しようとするものである。		
授業方法（学習指導法）	各講義ごとに、担当講師が講義に使用するプリントを用意し、講義を行なう。講師によってはビデオ・DVD・スライドなども利用する。		
授業到達目標	戦争の実態についての認識を深め、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して自由と平和を愛する文化国家の建設に努める態度を身につける。		
授業内容	講義内容は多岐にわたるので、以下のように各講師がそれぞれテーマを掲げて講義する。		
	回	内容	
	1	4月10日 戸田 ナガサキから平和学する	
	2	4月17日 戸田 原爆と原発	
	3	4月24日 戸田 日本の戦争犯罪	
	4	5月1日 戸田 ベトナム枯葉作戦と劣化ウラン弾	
	5	5月8日 戸田 民衆法廷	
	6	5月15日 戸田 ゲスト西岡由香 世界から見たナガサキ 90分間世界一周	
	7	5月22日 西岡由香 原爆とキリスト教	
	8	5月29日 小峰秀孝 私の被爆・被爆後体験	

	9	6月5日 山崎年子 二重被爆の父と生きる
	10	6月12日 冨塚明 核兵器廃絶運動と原爆症裁判
	11	6月19日 冨塚明 日米安保体制と原発
	12	6月26日 篠崎正人 有事体制と長崎・佐世保①
	13	7月3日 篠崎正人 有事体制と長崎・佐世保②
	14	7月10日 黒滝直弘 健康格差について①
	15	7月17日 黒滝直弘 健康格差について②
	16	7月24日 まとめ
キーワード	昭和史、戦争、アヘン、原爆、劣化ウラン、原発、枯葉剤、有事体制、アフガン戦争、イラク戦争、構造的暴力	
教科書・教材・参考書	特定の教科書は用いないが、プリント資料を適宜配布し、またスライド、DVD、ビデオなどを利用して、講義の理解を深めるのに役立つ。参考書は、高橋真司・舟越編『ナガサキから平和学する』法律文化社2009年、戸田清『核発電を問う』法律文化社2012年、など。	
成績評価の方法・基準等	出席を欠かさず、受講することを重視する立場から、講義への取り組みの積極性と担当講師が課したレポートの成績を総合的に評価する。	
受講要件（履修条件）	受講要件は特にない。	
本科目の位置づけ	被爆地長崎の大学に学ぶ学生としての基本的な教養を身につけるための科目である。	
学習・教育目標	戦争と平和、暴力と平和についての理解力と洞察力を具体的な事例の学習を通じて深める。	
備考（URL）	http://todakiyosi.web.fc2.com/	
備考（準備学習等）	書籍、新聞、テレビ、インターネットなどを通じて、戦争と平和、暴力と平和に関する日本と世界の動向に関心を持つことが望ましい。	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305690023Q1	科目番号	05690023
授業科目名	●トレーニングの科学		
編集担当教員	中垣内 真樹		
授業担当教員名(科目責任者)	中垣内 真樹		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中垣内 真樹,永江 誠治,山崎 浩則		
科目分類	総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生（クラス等）	H23年度以前入学者		
担当教員Eメールアドレス	gaichi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医学部保健学科体育館2F中垣内研究室		
担当教員TEL	095-819-7966		
担当教員オフィスアワー	月曜日 10:30~12:30、16:00~17:00		
授業のねらい	青年期にある大学生にとっての健康とは何かを学び、健康・体力増進のための体力トレーニング、スポーツ、食生活、メンタルヘルス等について理解する。		
授業方法（学習指導法）	講義にグループワーク、討論、演習、地域イベント参加等を取り入れ、自ら考え、行動する学習方法を身につける。		
授業到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 身体活動と食事のセルフチェックができる。 2. 青年期における健康づくりの意義について理解する。 3. 精神的な健康について理解する。 4. 健康における運動、スポーツの意義について理解する。 		
授業内容	回	内容	
	1	4月9日 青年期に健康を考える～医療の観点から～ 山崎浩則（保健・医療推進センター）	
	2	4月16日 青年期に健康を考える～ヘルスプロモーションの観点から～ 中垣内真樹（保健学科）	
	3	4月23日 青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶⅠ 中垣内真樹（保健学科）	
	4	4月30日 青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶⅡ 中垣内真樹（保健学科）	
	5	5月7日 青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶⅢ 中垣内真樹（保健学科）	
	6	5月14日 青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶⅣ 中垣内真樹（保健学科）	
	7	5月14日 健康のための食生活について学ぶⅠ ゲストスピーカー（栄養士）	
	8	5月21日 健康のための食生活について学ぶⅡ ゲストスピーカー（栄養士）	
	9	5月28日 健康のための食生活について学ぶⅢ ゲストスピーカー（栄養士）	
10	6月4日 青年期のメンタルヘルスについて学ぶⅠ 永江誠治（保健学科）		

	11	6月11日 青年期のメンタルヘルスについて学ぶII 永江誠治 (保健学科)
	12	6月18日 地域の運動・健康づくりイベントへの参加I (チャレンジデーなど) 中垣内真樹 (保健学科)
	13	6月25日 地域の運動・健康づくりイベントへの参加II (チャレンジデーなど) 中垣内真樹 (保健学科)
	14	7月2日 地域の運動・健康づくりイベントへの参加III (チャレンジデーなど) 中垣内真樹 (保健学科)
	15	7月9日 地域の運動・健康づくりイベントへの参加IV (チャレンジデーなど) 中垣内真樹 (保健学科)
	16	7月16日 青年期の健康・体力についてのGW・まとめ 中垣内真樹 (保健学科)
キーワード	健康、体力、スポーツ、食事、メンタルヘルス、ヘルスポロモーション	
教科書・教材・参考書		
成績評価の方法・基準等	授業へ臨む態度、グループワーク・討論での積極性、発表およびレポート内容を総合して評価する。	
受講要件 (履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考 (URL)		
備考 (準備学習等)		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	集中（前	曜日・校時	時間割外
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130569001001	科目番号	05690010
授業科目名	●共同授業		
編集担当教員	上江田 一雄		
授業担当教員名(科目責任者)	上江田 一雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	上江田 一雄		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室			
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	kazuo-u@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環309-3		
担当教員TEL	(095)819-2744		
担当教員オフィスアワー	特別に設けませんので、前もって電話でアポイントメントをとってから来室してください。		
授業のねらい	今年度で37回を数える伝統ある授業（正式名称は第37回九州地区国立大学間合宿共同授業）です。5大学（2月28日現在）の九州地区国立大学法人の学生と教員が一堂に集まり、寝食を共にしながら研修することによって、学生と教員ならびに大学間の交流を深め、かつ、同一テーマについて多面的な授業を展開することが目的です。		
授業方法（学習指導法）	5大学の教員による講義，討議，課外授業および学生フォーラムで構成します。		
授業到達目標	高校まで教わることによって学んできた学生が，知識基盤社会の担い手として学ぶ主体を自らに見出すことです。		
授業内容	<p>（概要）</p> <p>合宿期間は，8月24日（土）～8月27日（火）の3泊4日です。</p> <p>合宿場所は，九州地区国立大学九重共同研修所（大分県玖珠郡九重町湯坪にあって標高約1,000 mの涼しいところ）です。</p> <p>今年度のメイン・テーマは「大学での学習によってどのような能力を展開できるのか」です。</p> <p>本学の学生の募集人員は約12名です。</p> <p>他大学からは，福岡教育大学（約6名），九州大学（約14名），佐賀大学（約12名）および琉球大学（約12名）の学生が参加します。</p> <p>参加費は，交通費・宿泊費・食費込みですが，2月28日現在，未定です。</p> <p>日程や募集等の詳細については，後日，教養教育事務室の掲示物で確認してください。</p>		
キーワード	教養，合宿，学生主体，国立大学間，学生フォーラム，事前学習会		

教科書・教材・参考書	教科書は使用しません。参考書については、後日お知らせします。
成績評価の方法・基準等	事前学習会および合宿共同授業での学習態度（50%）、レポート（50%）で評価します。
受講要件（履修条件）	履修希望者が多い場合は選考の上決定します。
本科目の位置づけ	ありません。
学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	3泊4日の合宿共同授業以外に、5月から7月上旬にかけて週1回の事前学習会を行います。



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130569061401	科目番号	05690614
授業科目名	●オランダの文化		
編集担当教員	山下 龍		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 龍		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 龍		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-41		
対象学生（クラス等）	全学生		
担当教員Eメールアドレス	noboruy@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	言語教育研究センター		
担当教員TEL	095-819-2080		
担当教員オフィスアワー	授業の前後		
授業のねらい	日本と北ヨーロッパの中心国の一つとして発展してきたオランダとの交流が江戸初期に長崎から始まり、その交流が現在まで400年以上続いています。この講義ではオランダの文化と歴史を中心に、北ヨーロッパの歴史的発展、または、長崎と深い関わりのある日蘭交流について、基本的な知識の修得と文化理解を目的とします。		
授業方法（学習指導法）	講義形式 この講義の為に作成した資料や視聴覚教材（powerpoint）を利用して、世界史が得意ではない学生にも、より分かりやすく、オランダの文化と歴史を紹介します。		
授業到達目標	オランダ・北ヨーロッパの文化と歴史、または、日蘭交流についての基本的な知識を修得します。		
授業内容	ローマ時代前から現在までの歴史上の出来事を説明しながら、オランダの国とその発展を理解させます。オランダを知ることによって北ヨーロッパの文化の発展も理解することができます。		
	回	内容	
	1	オランダの紹介	
	2	9世紀までのオランダ ローマ帝国時代・キリスト教の流布・カール大帝の文化ルネッサンス	
	3	15世紀までのオランダ オランダ語文学の誕生・貿易国としての発展	
	4	16世紀までのオランダ エラスムスとヒューマニズム・ルターとプロテスタント教	
	5	16世紀までのオランダ オランダの独立戦争・ネーデルランデン7州連邦共和国の誕生	
	6	16世紀までのオランダ 15・16世紀の芸術家たち（ファン・エイク、ブリュゲルなど）	
7	17世紀のオランダ オランダ東インド会社の創立・日蘭交流		

	8	17世紀のオランダ 黄金時代の芸術（レンブラント・フェルメールなど）・世界貿易中心のオランダ
	9	17世紀のオランダ 黄金時代の学者たち・黄金時代の英雄たち・奴隷制
	10	第10課 18・19世紀のオランダ ナポレオンの時代・ネーデルラント王国の誕生
	11	19・20世紀のオランダ ゴッホの芸術・女性権利運動・第1次世界大戦・20世紀の芸術（モンドリアンなど）
	12	20世紀のオランダ 第2次世界大戦・インドネシアの独立
	13	オランダの宗教・祭り・伝統
	14	オランダの教育・政治・世界の中のオランダ
	15	講義の総括
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	教材：プリント教材 毎回配布します。	
成績評価の方法・基準等	成績評価の方法・基準等 成績評価は、○定期試験70%、授業中の提出物30%で行います。	
受講要件（履修条件）	全回出席が原則	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130569000702	科目番号	05690007
授業科目名	●解放講座		
編集担当教員	阿南 重幸		
授業担当教員名(科目責任者)	阿南 重幸		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	阿南 重幸, 藤澤 秀雄		
科目分類	自由選択科目、A科目 総合科目、総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養G棟]G-38		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	scykf338@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	学外非常勤講師		
担当教員TEL	09045868939		
担当教員オフィスアワー	scykf338@yahoo.co.jp		
授業のねらい	21世紀は「人権の世紀」ともいわれる。本講座は、部落問題を中心に今日社会におけるさまざまな諸問題を、人権の視点で考察することを目的とする。		
授業方法（学習指導法）	講義形式		
授業到達目標	講座開設の意義を踏まえ、世界の人権状況、国内においては、部落問題・アイヌ問題・ハンセン病回復者への差別・在日外国人・冤罪事件の諸状況を歴史的に考察し、理解を深める。		
授業内容	人権に関する世界及び日本の歩みを振り返り、今なお存在する日本の人権課題について、学ぶことを目的とする。人権の観点から見た部落問題、アイヌ問題、在日外国人問題、ハンセン病に係わる問題や冤罪事件等を取り上げ、とくに部落問題ではあやまった歴史観を質したい。また、地域史として、「長崎の被差別部落」を取り上げる。		
	回	内容	
	1	10月2日「解放講座」開設の意義について（藤澤秀雄）	
	2	10月9日 変化する「部落」観（阿南重幸）	
	3	10月16日 変化する部落観（阿南重幸）	
	4	10月23日 日本の近代化とアイヌ問題（阿南重幸）	
	5	10月30日 日本の近代化とアイヌ問題（阿南重幸）	
	6	11月6日 在日外国人の「国籍条項」（阿南重幸）	
	7	11月13日 在日外国人の「国籍条項」（阿南重幸）	
	8	11月20日 ハンセン病と差別（阿南重幸）	
	9	11月27日 ハンセン病と差別（阿南重幸）	
10	12月4日 教科書に見る部落問題（阿南重幸）		

	11	12月11日 教科書に見る部落問題（阿南重幸）
	12	12月18日 部落の歴史を再考する（阿南重幸）
	13	12月25日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として（藤澤秀雄）
	14	12月8日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として（藤澤秀雄）
	15	12月15日 フィールドワーク「原爆と被差別部落とキリシタン」（阿南重幸）
	16	
キーワード	知識・態度・技能	
教科書・教材・参考書	テキストは用いない。プリント、資料等を配布する。 ビデオ等を使用する。	
成績評価の方法・基準等	レポートの成績、出席状況を考慮して行う。 レポート 70 出席 30	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305900908Q1	科目番号	05900908
授業科目名	●口の健康・体の健康		
編集担当教員	村田 比呂司		
授業担当教員名(科目責任者)	村田 比呂司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	村田 比呂司, 鮎瀬 卓郎, 小山 善哉, 細矢 由美子		
科目分類	A科目 総合科目、総合科学科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-33		
対象学生（クラス等）	H23年度以前入学者		
担当教員Eメールアドレス	村田：hmurata@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	病院本館8階839室		
担当教員TEL	(内線) 村田:7690; 鮎瀬:7713; 細矢:7673; 小山:7679		
担当教員オフィスアワー	村田：水17:00～18:00		
授業のねらい	義歯による口腔機能の回復、睡眠や呼吸機能障害の原因や診断・治療法について学ぶ。また、加齢に伴う歯の色の変化や原因を知り、生涯健康で美しい歯を維持するための知識を習得する。東日本大震災での歯科医療支援活動についての意見交換も行う。		
授業方法（学習指導法）	スライドやプリントならびに手鏡などを使用し、講義形式で行う。		
授業到達目標	超高齢社会における義歯の役割および重要性、睡眠や呼吸機能障害の原因や診断・治療法、加齢に伴う歯の色の変化や原因、健康で美しい白い歯を維持するための方法、災害時での歯科医療支援活動についての重要性等を説明できる。		
授業内容	回	内容	
	1	義歯のいろいろ（村田）	
	2	義歯と口腔および全身の健康（村田）	
	3	義歯の材料工学（村田）	
	4	老年歯科総論（村田）	
	5	老年歯科各論（村田）	
	6	睡眠に関する基礎的な生理機能（鮎瀬）	
	7	睡眠時無呼吸症候群の病態の理解（鮎瀬）	
	8	睡眠中の口腔の生理的機能の変化（鮎瀬）	
	9	睡眠障害が関連する歯科的疾患の病態（鮎瀬）	
	10	睡眠障害が関連する歯科的疾患の最新の治療法（鮎瀬）	
	11	歯の色と歯の変色（細矢）	
12	歯の色の比較分析法と白い歯（細矢）		

	13	東日本大震災・福島県での歯科巡回支援活動から学ぶ（小山）
	14	長崎および近隣地域における災害時歯科支援を考える（1）（小山）
	15	長崎および近隣地域における災害時歯科支援を考える（2）（小山）
	16	
キーワード	超高齢社会・口腔機能・QOL・睡眠・呼吸機能・歯の色・変色歯治療・災害支援	
教科書・教材・参考書	特にないが、興味のある方は「長生きする入れ歯—科学的根拠に基づく知識と治療法（ブルーボックス、早川巖）を参考にしてください。	
成績評価の方法・基準等	定期試験および授業への貢献度により評価します。なお定期試験は記述式とします。	
受講要件（履修条件）	全授業の2/3以上の出席、および定期試験を受けないと成立しません。	
本科目の位置づけ	自身および家族の健康増進にも役に立ちます。	
学習・教育目標	口腔の健康の重要性および歯科医療を理解することを目的とします。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	疑問点および聞きたいことがあれば、遠慮なく質問してください。	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130588010101	科目番号	05880101
授業科目名	●男女共同参画のすすめ		
編集担当教員	大井 久美子		
授業担当教員名(科目責任者)	大井 久美子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大井 久美子		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生（クラス等）	特に制限なし		
担当教員Eメールアドレス	knockout@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	男女共同参画推進センター		
担当教員TEL	095-819-2179		
担当教員オフィスアワー	15～17時		
授業のねらい	自分が意義や価値を見いだす課題を見つける。 異なった文化や価値観に関心をもつ。		
授業方法（学習指導法）	グループ討論等		
授業到達目標	生命にとっての多様性の意義を見いだす。		
授業内容	回	内容	
	1	男女共同参画社会とワークライフバランス	
	2	日本と世界の子育て	
	3	子育てと夫婦関係	
	4	子ども達のライフハザード	
	5	親子のコミュニケーション形成	
	6	育児に困惑する母親達の存在	
	7	育児支援施策	
	8	乳幼児の心身の発育・発達	
	9	思春期の心身の発育・発達	
	10	仕事に対する多様な選択	
	11	女性のキャリア形成	
	12	世界における女性研究者の位置	
	13	男女共同参画推進の壁	
14	男女共同参画を推進する力		

	15	職場の働きやすい環境とは
	16	試験
キーワード	男女共同参画、ライフワークバランス、多様性、	
教科書・教材・参考書	未定	
成績評価の方法・基準等	レポート（50%）、テスト（50%）	
受講要件（履修条件）	特になし	
本科目の位置づけ	男女共同参画社会実現のための推進力となる	
学習・教育目標	自分が意義や価値を見いだす課題を見つける。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130590090502	科目番号	05900905
授業科目名	●平和講座		
編集担当教員	戸田 清		
授業担当教員名(科目責任者)	戸田 清		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	戸田 清, 安部 俊二, 国武 雅子, 関口 達夫, 安井 幸子, 藤田 祐幸		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目、A科目 総合科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養C棟]C-16		
対象学生（クラス等）	全学部 1年、2年、3年、4年		
担当教員Eメールアドレス	toda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部4階環404戸田教員室		
担当教員TEL	095-819-2726		
担当教員オフィスアワー	月曜15-17時		
授業のねらい	この文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身動員令などによって動員された多くの若者たちが航空機用魚雷の生産に従事中、原爆によって、その多くが爆死しました。敗戦後、日本人は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚し、国家再建の基礎を人類普遍の原理に求めて戦争を放棄し、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して安全と生存を保持しよう」と決意しました。本講座は、その決意を受け継ぎ、平和を愛し探究心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく基礎的資料と基本的な分析理論を提供しようとするものである。		
授業方法（学習指導法）	各講義ごとに、担当講師が講義に使用するプリントを用意し、講義を行なう。講師によってはビデオ・DVD・スライドなども利用する。		
授業到達目標	戦争の実態についての認識を深め、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して自由と平和を愛する文化国家の建設に努める態度を身につける。		
授業内容	講義内容は多岐にわたるので、以下のように各講師がそれぞれテーマを掲げて講義する。		
	回	内容	
	1	10月2日 戸田 ナガサキから平和学する	
	2	10月9日 国武雅子 女性の戦争協力	
	3	10月16日 国武 銃後の生活	
	4	10月23日 国武 日本軍「慰安婦」問題	
	5	10月30日 国武 日本軍「慰安婦」問題②	
	6	11月6日 安部俊二 大正期・長崎を襲ったスペイン・インフルエンザ	
	7	11月13日 安部 知識人の総力戦認識 水野広徳を中心に	
8	11月20日 安部 100年遅れのアヘン戦争としての15年戦争①		

	9	11月27日 安部 100年遅れのアヘン戦争としての15年戦争②
	10	12月4日 安部 私の被爆体験－安井幸子さんの講話①
	11	12月11日 安部 私の被爆体験－安井幸子さんの講話②
	12	12月18日 藤田祐幸 福島原発事故
	13	12月25日 藤田 日本の政策と潜在核武装
	14	1月8日 関口達夫 長崎原爆を報道する①
	15	1月15日 関口 長崎原爆を報道する②
	16	1月22日 まとめ
キーワード	昭和史、戦争、アヘン、原爆、劣化ウラン、原発、枯葉剤、有事体制、アフガン戦争、イラク戦争、構造的暴力	
教科書・教材・参考書	特定の教科書は用いないが、プリント資料を適宜配布し、またスライド、DVD、ビデオなどを利用して、講義の理解を深めるのに役立つ。参考書は、高橋真司・舟越編『ナガサキから平和学する』法律文化社2009年、戸田清『核発電を問う』法律文化社2012年、など。	
成績評価の方法・基準等	出席を欠かさず、受講することを重視する立場から、講義への取り組みの積極性と担当講師が課したレポートの成績を総合的に評価する。	
受講要件（履修条件）	受講要件は特にない。	
本科目の位置づけ	被爆地長崎の大学に学ぶ学生としての基本的な教養を身につけるための科目である。	
学習・教育目標	戦争と平和、暴力と平和についての理解力と洞察力を具体的な事例の学習を通じて深める。	
備考（URL）	http://todakiyosi.web.fc2.com/	
備考（準備学習等）	書籍、新聞、テレビ、インターネットなどを通じて、戦争と平和、暴力と平和に関する日本と世界の動向に関心を持つことが望ましい。	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305900905Q1	科目番号	05900905
授業科目名	●平和講座		
編集担当教員	中村 桂子		
授業担当教員名(科目責任者)	中村 桂子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中村 桂子, 梅林 宏道		
科目分類	自由選択科目、A科目 総合科目、総合科学科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-12		
対象学生（クラス等）	H23年度以前入学者		
担当教員Eメールアドレス	nakamurak@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	核兵器廃絶研究センター（RECNA）		
担当教員TEL	095-819-2865		
担当教員オフィスアワー			
授業のねらい	このクラスでは、核兵器をめぐる日本と世界の動きの中で、市民運動やNGOがどのような役割を担ってきたのかを学びます。民主主義における市民社会の役割と位置付けを概観したのちに、過去と現在におけるいくつかの特徴的な市民・NGOの活動の例を取り上げ、その背後の理論、成果、残る課題等について検証します。核軍縮に限らず、さまざまな国際問題に関心のある学生、将来国際機関やNGOで働くことを視野に入れている学生、一人の人間として社会に対して何ができるのかを模索したい学生、いろいろな問題関心のある学生に対応した授業となっています。		
授業方法（学習指導法）	授業は担当教員による講義に加え、ゲストスピーカーによる講義やグループ発表、ディスカッションなどを組み合わせたものになります。講義であっても、リアクションペーパーなどを通じて、学生が主体的に自分の意見を組み立て、表現する機会を持てるようにします。また、授業の中では、パワーポイントスライド、写真、映像などのさまざまなビジュアルを通して、学生が最新の世界の動きに触れるとともに、そのダイナミズムを感じ取られるような授業を行います。実際の活動の当事者を招いて話を聞くことも追求します。受講人数にもよりますが、少人数グループに分かれての調査、その報告及びグループディスカッションも予定します。		
授業到達目標	核兵器をめぐる市民運動とNGOの動きについて全体的な知識を得るとともに、核兵器のない世界の実現に向けた課題が何かを理解し、解決への具体的方途について学生一人一人が自分で考え、それを説明できるようになることを期待します。		
	講義は、「市民」「市民社会」「NGO」とは何かといった概念整理から始め、民主主義体制における市民社会の役割を歴史的観点から概観します。その中では、特定の兵器に関する禁止条約の策定において市民・NGOが担ってきた役割についても学びます。核兵器をめぐるのは、その誕生から現在に至るまでの歴史の中で、国内外の市民・NGOがどのような運動を展開してきたか、その歴史的背景、活動における理念や考え方、実際の活動、社会的・政治的影響と成果、残る課題等について具体的事例を挙げながら検証していきます。並行して、グループ単位でのNGO・市民運動の活動に関する調査を行い、その結果を発表するとともに意見交換を行います。		
	回	内容	

授業内容	1	授業の進め方について 「市民社会」とは何か
	2	市民社会は世界を変えたのか ――対人地雷、クラスター弾禁止の例から
	3	原水爆禁止運動の誕生と発展
	4	広島・長崎の被爆者の運動
	5	核保有国での反核運動
	6	非核兵器地帯をめぐる運動
	7	核兵器廃絶に向けた自治体の取り組み
	8	中堅国家を動かす
	9	世界法廷運動、ICJ勧告とその後
	10	核兵器の非合法化をめざして
	11	若者による運動
	12	グループ発表①
	13	グループ発表②
	14	グループ発表③
	15	まとめ：私たちにできることは？
	16	
キーワード	核兵器、市民、市民社会、NGO	
教科書・教材・参考書		
成績評価の方法・基準等	出席点及び講義の際のリアクションペーパー、意見発表などの平常点が全体の60%、期末のレポートが40%です。	
受講要件（履修条件）	全回出席が原則。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305690022Q1	科目番号	05690022
授業科目名	●大学生のための育児学		
編集担当教員	大石 和代		
授業担当教員名(科目責任者)	大石 和代		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大石 和代, 中尾 優子, 荒木 美幸		
科目分類	総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生（クラス等）	1年, 2年, 3年, 4年		
担当教員Eメールアドレス	大石和代/k-oishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	保健学科5階		
担当教員TEL	095-819-7980		
担当教員オフィスアワー	質問等ある場合は大石教員アドレス(上記参照)までEメールで連絡して下さい。		
授業のねらい	胎児・乳幼児の発育・発達について学習し、育児についての知識・技術を修得する。		
授業方法（学習指導法）	・ オムニバスによる講義・演習		
授業到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 胎児・乳幼児の発育・発達について説明できる。 2. 育児技術を実施できる。 3. 男女共同で育児することの必要性が理解できる。 		
授業内容	回	内容	
	1	9/30 育児の意義・歴史(大石)	
	2	10/7 胎児の発育・発達(荒木)	
	3	10/21 妊娠中からの親子のコミュニケーション(荒木)	
	4	10/28 妊婦体験とマザーリングマザー(荒木)	
	5	11/11 出産(荒木)	
	6	11/18 新生児の能力と養護(中尾)	
	7	11/25 乳幼児のからだの発育・発達(中尾)	
	8	12/2 乳幼児のこころの発育・発達(中尾)	
	9	12/9 乳幼児の遊び(中尾)	
	10	12/16 乳幼児の病気(上野)	
	11	1/6 乳幼児の事故(上野)	
	12	1/20 乳幼児の緊急時対策と応急措置(上野)	
	13	1/21 男性と育児(大石)	

	14	1/27 女性と育児(大石)
	15	2/3 まとめ(大石)
	16	
キーワード	育児、妊娠・出産、胎児・新生児・乳幼児、育児技術、男児共同	
教科書・教材・参考書	毎回、講義資料を配布する。	
成績評価の方法・基準等	毎回のテスト:60% 課題レポート:20% 演習等への貢献度:20%	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	集中（後）	曜日・校時	時間割外
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130569001101	科目番号	05690011
授業科目名	●全学乗船実習		
編集担当教員	高山 久明		
授業担当教員名(科目責任者)	高山 久明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高山 久明		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室			
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	kyumei@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	水産学部本館3階		
担当教員TEL	095-819-2809		
担当教員オフィスアワー			
授業のねらい	海と船をより身近な問題として実践的な視点で捉えるため、練習船長崎丸に乗船して航海を体験する。この体験により、海洋環境や海洋生態系、あるいはそれらと人間の営みを肌で感じ、より深く理解すると共に、異分野の学生が船内生活を通して、コミュニケーション能力、多角的視点、協調性などを修養する。		
授業方法（学習指導法）	乗船実習中に操船、海洋観測、トロール操業、魚類の加工、ロープの結び方等の演習を行う。また、一時上陸して、水族館、魚市場等の見学を行う。		
授業到達目標	海洋及び船舶に慣れ、親しみ、航海・運用術、海洋観測の基礎的実習および海・船・人間の関係について関わりを習得。また、船内での団体生活の体験により、協調性・寛容性を習得する。		
授業内容	<p>海には色々な用途を持った船が動いているが、その内の練習船長崎丸は水産学部学生の実習・調査・研究のため運航されている。その船を使って船舶運航、漁労、海洋観測を行い、海洋・船への関心を深める。また、漁獲された魚がどのように人間の生活に関係を持っているか実習・見学にて学ぶ。異分野の学生同士が船内生活を通してコミュニケーションを深めていく。</p> <p>事前講義Ⅰ 実習の目的・概要・船内生活注意・見学施設等について 事前講義Ⅱ 船、海洋観測、トロール操業に関する基礎知識</p> <p>実習1日目 乗船、船内ガイダンス、海洋観測、トロール操業</p> <p>2日目 天候・海況により変更があるが以下の項目を実施する。 海洋観測、トロール操業、漁獲物調査 ロープ結索練習、救命艇操練、船の位置測定</p> <p>3日目 入港、陸上施設見学</p> <p>4日目 陸上施設見学（魚市場等）、出港、魚類加工</p>		

	5日目 下船時のガイダンス、下船、実習の総括、レポート作成 なお、天候・海況によっては実習の内容を大きく変更することがある。
キーワード	練習船・海洋実習・海洋観測
教科書・教材・参考書	
成績評価の方法・基準等	実習への取り組み状況 70% レポート 30%
受講要件（履修条件）	・受講定員は40名（多数の場合は抽選により決定する） ・受講者は必ず損害保険に加入すること ・受講にかかる費用は食費及び陸上施設利用料 合計 8000円程度
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	

